

麻生市民交流館やまゆりの玄関先に 新百合ヶ丘とやまゆりの建設経緯を 書いた

メモリアルプレート設置

新百合ヶ丘・やまゆり メモリアルプレート設置

やまゆり玄関前に新百合ヶ丘の開発と麻生市民交流館やまゆりの建設経緯を記したメモリアルプレートが設置されました。形状は縦50cm、横100cm、2本足のステンレス製、文字は「新百合ヶ丘のあゆみ」と「麻生市民交流館やまゆりが建設されるまで」で、歴史にそって書かれています。

1980年代まで、のどかな農村であった麻生の地が、快適な環境を提供する住宅地域に変貌したこと、特に新百合ヶ丘駅周辺が、川崎新都心にふさわしい風格を備えた街に生まれ変わったこと、そして、1998年8月に、国土交通省の都市景観大賞を受賞したことなどが書かれています。

やまゆりの開設経過については、旧あさひ銀行グラウンド跡地の開発、川崎市が進める「市民参加と協働の街づくり」にむけて、新しい市民利用施設市民検討委員会が設置されたこと、名称が公募によって「麻生市民交流館やまゆり」になり、市民の主体的な運営のもとに開設されたことが記されています。しばし、プレートの前で、歩を止めて、麻生市民交流館やまゆりを振り返って頂きたいと存じます。

